

【特集】 2～3ページ

祝 第92回 **メーデー**

ようこそ！新人の皆さん

若者と職場へのアドバイス

～川村雅則北海学園大学教授

【労働】 5～6ページ

絶対に見てみたい！労働映画アラカルト／
ニュースワード解説／労働TOPIC 新型コロナ
ワクチン 不足の背景に知財権!?／雨宮処
凛の世直し随想 多くの人生を変えた1年／北
から南から

【文化・生活】 7～10ページ

時のことば／くらしの豆知識／くらしと統計／
セルフコンパッションでうまくいく！／これは
簡単！べんり食材でササッと料理／数独／囲
碁・将棋／新刊文庫の甘～い誘い／ひとくち映
画情報／あめんぼファミリー

【ニュースダイジェスト】 11～13ページ

【広告】 14ページ

【焦点—Q&A】 4ページ

● **思いやり予算**

日米地位協定に反する負担

／年2千億円超、今後増加も

● **看護師**

問題多い日雇い派遣解禁

／チーム医療混乱の懸念も

【お知らせ】

8ページ「これは簡単！べんり食材でササッと料理」は今号で終了します。
4月20日号からは、おコメを使った料理を紹介する企画を連載します。

ようこそ！新人の皆さん

若者と職場へのアドバイス～川村雅則北海学園大学教授

若者たちが希望と不安を抱えながら、新しく職業生活を始める4月。一方、迎え入れる職場にとっても、やや緊張する季節でしょう。今、双方にとって何が必要か。非正規労働やワーキングプア、貧困など若者の置かれている事情に詳しい北海学園大学の川村雅則教授にアドバイスをもらいました。

新人の皆さんへ

困った時は組合に相談を

コロナ下の就活で苦勞して得た内定。どんなつらい

ことでも、会社に言われた通り我慢して働かなければ……。そう思っている人は少なくないでしょう。

そもそも賃金や労働時間などの労働条件は、経営者が決めるものであって、皆さんにできるのは、耐え忍ぶことか、嫌なら辞めることぐらい、そう思っていますか。学生時代のアルバイトでも、シフトの一方的な変更や残業代の不払い、ミスの弁償やノルマ・買取りなど不条理に従うのは珍しくなかつたはず。だと

すれば、そう思うのは無理もありませぬ。

しかし、それは違うのです。誰かが決めたことを一方的に押し付けられるのは民主主義社会のルールではないのだと知ってほしい。

意思決定の場に参加して、自分の考えを主張する。職場の労働条件についても同じで、労働者と使用者が話し合って決めるのが雇用社会のルールです。もつとも、一人で声を上げてでもそれは通りません。みんなの声をまとめて使用者にぶつける必要があります。そこそが労働組合の



役割です。教科書で習いましたよね。使用者と対等の

先輩の皆さんへ

若者に向き合える職場に

職場に入ってくる若者と接する時、まずは生きてきた時代が全く違うことを念頭に置いてほしい。一度失敗したら再挑戦の難しい就職活動の重圧に、奨学金という多額の借金。自己責任

社会を生き抜いてきた彼らに、「連帯・団結の力で問題を解決しよう」と言っても、まずピンときません。そもそも、労働組合に接する機会などなく成長したのですから。「私鉄のストで学校が休みになった」なんて話は遠い世界の出来事

立場に立つための唯一の手段が労働組合です。

問題が一つもない職場なんてありえません。そんな時、労働組合に相談することから始めてみてはどうでしょうか。労働組合がない職場でも安心を。地域には皆さんが一人からでも入れる労働組合があるので。

です。逆に「ストなんて迷惑だ」という考えの方に引つ張られる可能性もあるかもしれません。

でも誤解しないでほしいのは、苦しむ労働者への想像力や共感力を彼らももっていない訳では全くない、ということ。むしろ、ワーキングプアから職業生活を始めるとも珍しくない彼らの世代こそ、客観的には、労働組合や政治の力を必要としていると言えないでしょうか。そして、そうした彼らは

上の世代に比べて人権感覚に敏感な側面も持っています。単身赴任や長時間労働を忌避する思い、男性の育児参加や夫婦別姓、性的少数派を指すLGBTの権利などへの関心は高いと感じています。

ただ、それらの課題の解決には、集団の力や政治の力が必要であることを、実感として持っていないのだと思います。変えた経験がないのですから。

問われている私たち

若い世代が持つ労働組合への素朴な疑問や人権への関心に、職場の先輩たちがどれだけ向き合えるのか、逆に問われているように思います。彼らが安心して何でも意見を言える組合の運営になっているのか、疑問に対してふに落ちるまで丁寧な説明できているのか。その辺りから、これまでの活動を省みる機会にしてみてもいいでしょうか。